

脈々 <sup>スピリッツ</sup> 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「地位の独立 精神の独立」

「私」という文字は、「公」という文字の持つ誰憚ることのない明るさに対して、暗い陰や闇をまとわされている。「私事」であれば一段声をひそめ、「私する」のは決して誉められる行為ではない。

この「私」を冠して「私立学校」と呼ばれることを快<sup>こころよ</sup>しとしない。

やむにやまれぬ無私の精神が礎であれば、あのリンカーンのことばになぞらえ、「民立」と呼ばれて然るべきである。

死力を尽くし斃<sup>たお</sup>れて後已<sup>お</sup>まんのみ。否、斃れて後も尚<sup>なお</sup>已まざるの覚悟なり。 (「藪椿」10-2)